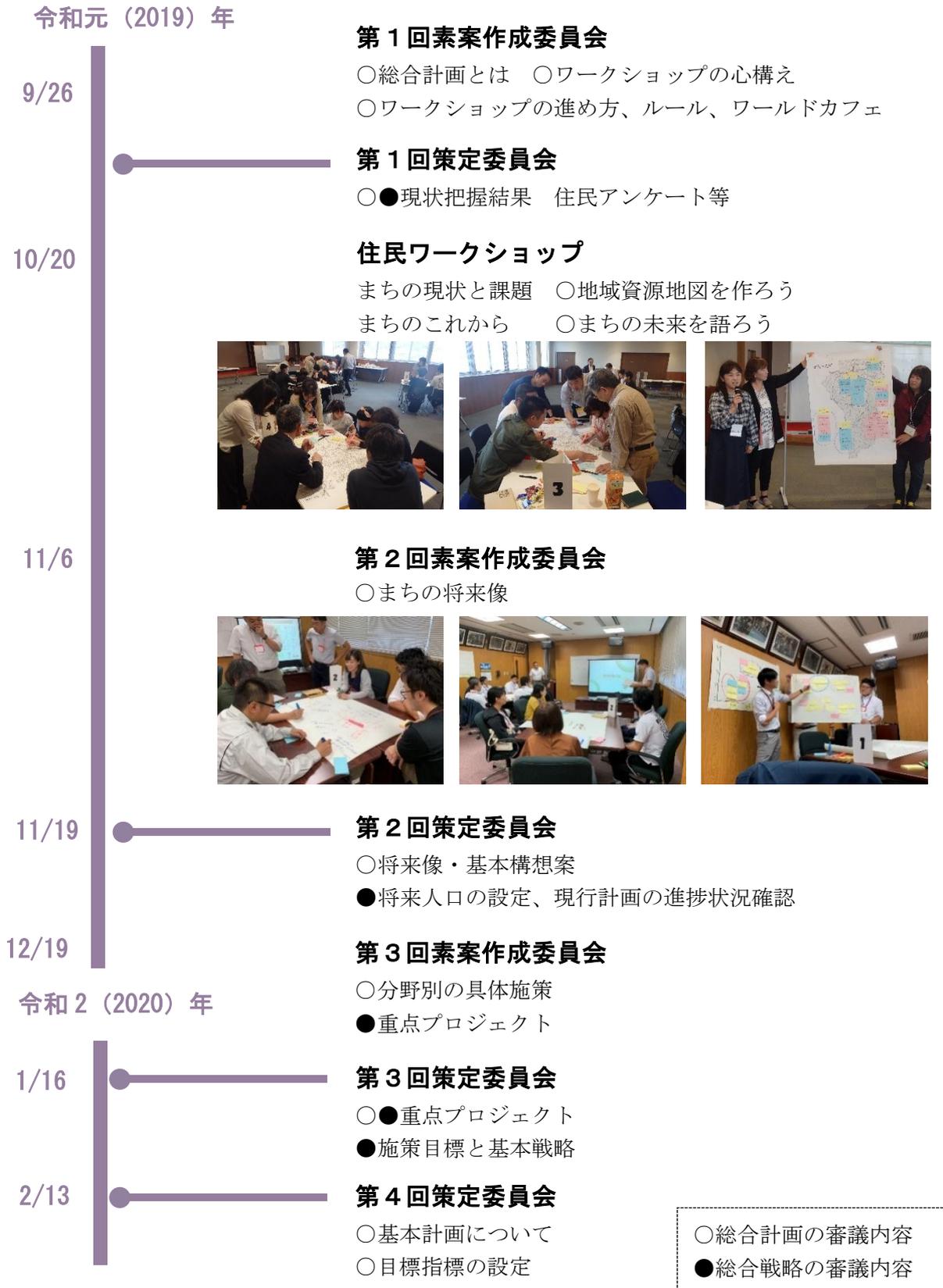




## 第4部 資料編

### 1. 策定経過

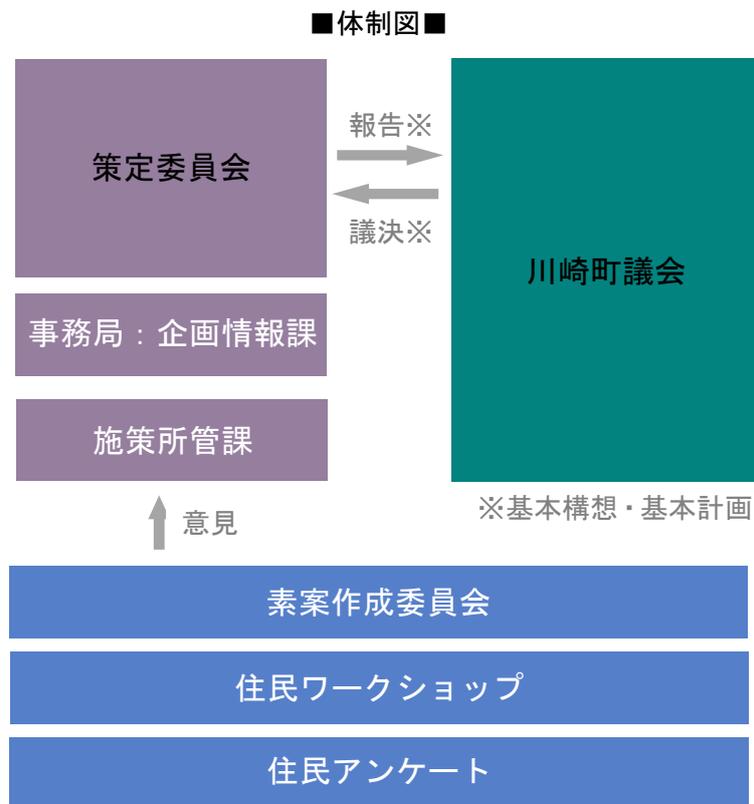
次のような経過で計画を策定しました。



## 2. 策定体制

「第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略素案作成委員会」「住民アンケート」「住民ワークショップ」等からの意見をもとに、第6次川崎町総合計画の事務局案の作成を進めました。また、事務局は庁内調整を行い、素案をまとめ、それを「第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略策定委員会」で審議しました。

総合計画の基本構想と基本計画は、川崎町議会基本条例に基づき議会の議決事項となっています。そのため、川崎町議会は第6次川崎町総合計画を審議のうえ、議決を行いました。





### 3. 川崎町議会基本条例（関係箇所抜粋）

第13条 議会は、町長が提案する重要な政策を審議するにあたり、その論点を明らかにし、その政策水準を高めるため、町長に対し、次に掲げる事項について明らかにするよう求めるものとする。

- (1) 政策の発生源
- (2) 提案に至るまでの経緯
- (3) 他の自治体の類似する政策との比較検討
- (4) 総合計画との整合性
- (5) 関係ある法令及び条例等
- (6) 財源措置
- (7) 将来にわたるコスト計算  
(予算・決算における政策説明資料の作成)

第14条 議会は、予算案及び決算を審議に付すに当たっては、前条の規定に準じて、分かりやすい施策別又は事業別の説明資料を町長に求めるものとする。

(地方自治法第96条第2項の議決事項)

第15条 地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第96条第2項に基づく議会の議決事項を次のとおり定める。

- (1) 総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想及び総合計画
- (2) 前号に掲げるもののほか、町行政の各分野における政策及び施策の基本的な方向を定める計画、指針、その他これらに類するものに関すること(行政内部の管理に係る計画、特定の地域を対象とする計画及び計画期間が3年未満の計画を除く。)で、次に掲げるものとする。
  - ア 都市計画、上下水道等に関する計画
  - イ 社会福祉、医療に関する計画
  - ウ 農林水産業、観光、商工業、その他の産業の振興に関する計画
  - エ 町民生活の安全、交通、環境に関する計画
  - オ 教育に関する計画
  - カ 次世代育成、男女共同参画に関する計画
  - キ 国民保護に関する計画
- (3) 定住自立圏構想推進要綱(平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知)の規定による定住自立圏形成協定の締結若しくは変更又は廃止を求める旨の通告  
(平成23年12月9日・平成25年2月14日・平成28年9月23日・一部改正)

#### 4. 第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略策定委員会名簿

任 期 令和元（2019）年8月1日 ～ 令和2（2020）年3月31日

##### ■委員

	区 分	氏 名	摘 要
1	学識経験者	城 戸 宏 史	北九州市立大学大学院教授
2	行 政	宮 田 等	副町長
3	行 政	小 峠 英 人	教育長
4	議 会	樋 口 秀 隆	町議会議員
5	議 会	松 岡 久 代	町議会議員
6	行政区	寿 浦 一 成	行政区長会
7	観光の関係者	竜 円 勝 幸	川崎町観光協会事務局長
8	商工の関係者	濱 口 喜 則	豊前川崎商工会議所所長
9	商工の関係者	中 村 孝 司	豊前川崎商工会議所青年部
10	金融の関係者	井 上 靖 彦	福岡銀行川崎支店支店長
11	金融の関係者	平 松 晃	西日本シティ銀行川崎支店支店長
12	子育ての関係者	中 島 勝 美	人権擁護委員
13	農業の関係者	井手上 昌 志	JA たがわ川崎支所次長
14	農業の関係者	杉 本 利 雄	(有)ラピュタファーム代表取締役
15	農業の関係者	西 山 一 郎	農業後継者クラブ会長

区 分	氏 名	摘 要
オブザーバー	野 口 綾 子	福岡県市町村支援課

##### ■事務局

所 属	氏 名	摘 要
総務課長	中 村 和 貴	
財政課長	手 嶋 康 文	
企画情報課長	奥 修 一	
企画情報課企画調整係長	福 島 昌 美	
企画情報課企画調整係	國 澤 賢 司	
企画情報課企画調整係	丸 田 隆 矢	
企画情報課企画調整係	松 尾 郁 代	
企画情報課企画調整係	谷 豊	
企画情報課企画調整係	田 邊 律 子	



## 5. 第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略素案作成委員会名簿

任 期 令和元（2019）年8月1日 ～ 令和2（2020）年3月31日

## ■委員

	所 属	役 職	氏 名
1	総務課人事係	係 長	荒 卷 英 司
2	財政課財政係	主 事	小 峠 清 英
3	防災管財課管財契約係	主任主事	小 見 嘉 幸
4	福祉課福祉係	主 事	中 島 直 子
5	商工観光課商工観光係	主任主事	伏 見 慎 規
6	教務課教務係	主 事	田 中 亮 平
7	社会教育課社会体育係	主 事	猪 原 翔 太
8	健康づくり課健康促進係	保健師	國 廣 妙 子
9	健康づくり課子育て支援係	主 事	大 野 智 章
10	高齢者福祉課高齢者福祉係	係 長	沖 弥 生
11	住民課環境保全係	主 事	崎 山 亮
12	田川広域水道企業団川崎町水道事務所	主 事	中 野 亮 介

## ■事務局

所 属	氏 名	摘 要
企画情報課長	奥 修 一	
企画情報課企画調整係長	福 島 昌 美	
企画情報課企画調整係	國 澤 賢 司	
企画情報課企画調整係	丸 田 隆 矢	
企画情報課企画調整係	松 尾 郁 代	
企画情報課企画調整係	谷 豊	
企画情報課企画調整係	田 邊 律 子	

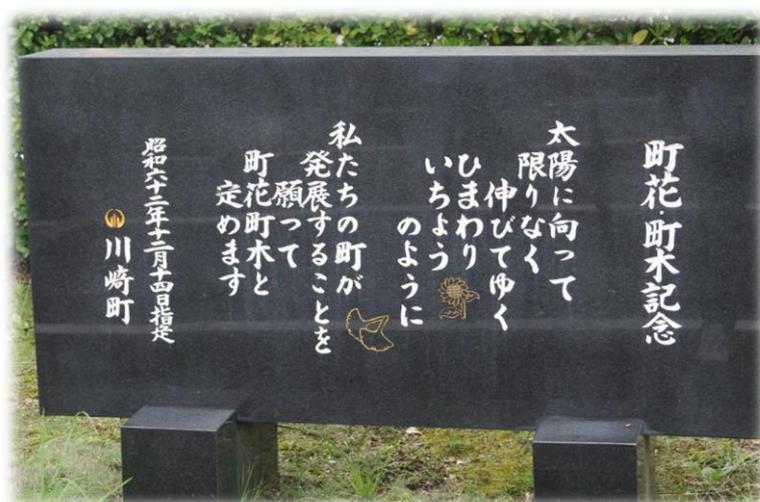
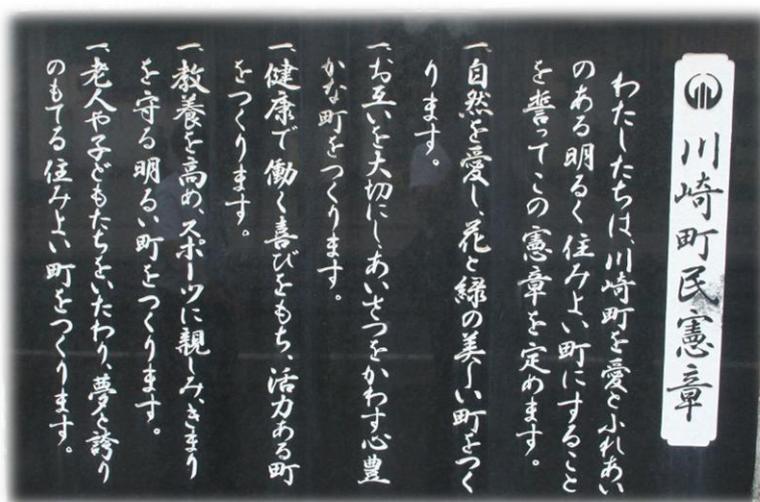


## 6. 川崎町民憲章

わたしたちは、川崎町を愛とふれあいのある明るく住みよい町にすることを誓ってこの憲章を定めます。



- 一、 自然を愛し、花と緑の美しい町をつくります。
- 一、 お互いを大切にし、あいさつをかわす心豊かな町をつくります。
- 一、 健康で働く喜びをもち、活力ある町をつくります。
- 一、 教養を高め、スポーツに親しみ、きまりを守る明るい町をつくります。
- 一、 老人や子どもたちをいたわり、夢と誇りのもてる住みよい町をつくります。





## 7. 住民アンケート

### (1) 調査概要

#### ①調査目的

令和2(2020)年度から始まる「第6次川崎町総合計画」および「第2次川崎町総合戦略」を策定するため、町民に町政に対する考え方や意見を聞き、今後のまちづくりの方向性や諸課題への対応を検討するうえでの基礎資料としました。

#### ②調査対象および調査方法等

調査対象	20歳以上の町内居住者を対象とし、無作為に抽出
調査数	2,800人(1回目:1,800通、2回目:1,000通)
調査方法	郵送により配布、郵送回収
調査時期	1回目:令和元(2019)年8月9日(金)～8月27日(火):19日間 2回目:令和元(2019)年10月1日(火)～10月16日(水):16日間

#### ③回収状況

有効配布数	2,800通
有効回収数	458通
有効回収率	16.4%

#### ④留意事項

表・グラフ中の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、各選択肢の構成比の合計が100%にならない場合があります。

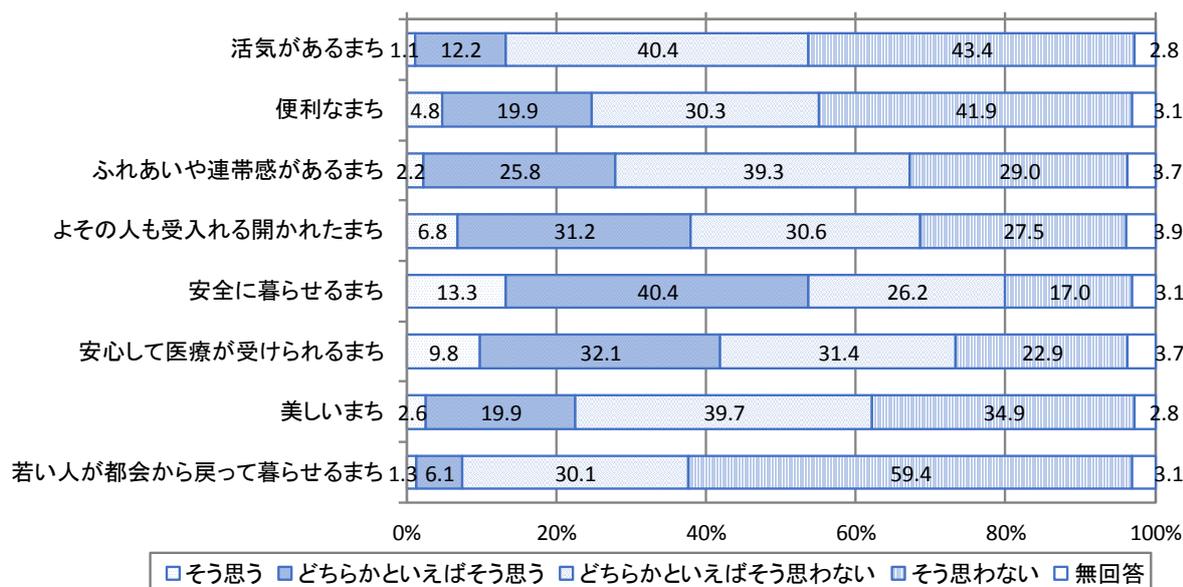
2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。

図表中の「N」あるいは「n」は、比率算出上の基数(標本数)を表す記号である。「N」は全標本数ベース、「n」は該当数ベースを示しています。

クロス集計における各設問の表の回答割合に関して、表中の **太字** は1番多い項目、 は2番目に多い項目、**太字** は3番目に多い項目を示しています。

## (2) 結果のまとめ

- 町のイメージに関する 8 つの設問「活気があるまち」「便利なまち」「ふれあいや連帯感があるまち」「よその人も受入れる開かれたまち」「安全に暮らせるまち」「安心して医療が受けられるまち」「美しいまち」「若い人が都会から戻って暮らせるまち」について、好意的な評価が半数を超えたのは、「安全に暮らせるまち」のみである。また、前回調査と比較すると、8 設問中 7 設問で好意的な評価が減少し、一方で「よその人も受入れる開かれたまち」のみ、好意的な評価が増加している。



- 町への意向に関する 2 つの設問「住み続けたい」「愛着をもっている」について、「住み続けたい」「愛着をもっている」は好意的な評価が 6 割から 7 割となっている。また、前回調査と比較すると、「住み続けたい」は好意的な評価が減少し、「愛着をもっている」は横ばいとなっている。
- 町の魅力として発信していくべきものは、「パン博などのイベント」「農産物などの食べ物」「ラピュタファームなどの施設や場所」の順に上位を占めている。
- 暮らしのなかの満足度・重要度について、重要度が高く満足度が低い項目として、「学校教育」「環境衛生」「交通」「地域公共交通」などがあげられる。
- 今後 5 年間で力を入れてほしい取組みについては、「高齢者や障がい者福祉の推進」「働く場所の確保」「過疎が進む町の活性化」「子どもの教育の充実」「コミュニティバスなど公共交通の充実」の順に要望が多くなっている。
- 第 5 次川崎町総合計画の認知度について「知っている」が 1 割以下となっており、また、アンケートの回収率が 16.4%と、近隣市町村と比較しても低い傾向にあるため、住民の町政への関心度を上げていくことが求められる。

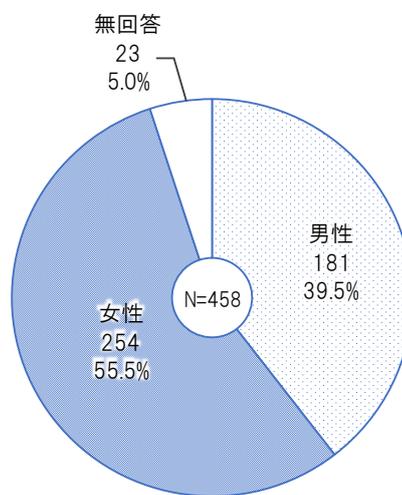


### (3) 集計結果

#### あなた自身について

##### あなたの性別をお教えてください。

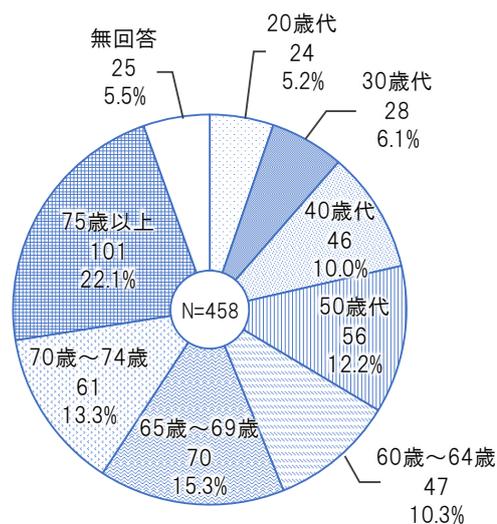
「男性」が39.5%、「女性」が55.5%となっている。



##### あなたの年齢をお教えてください。

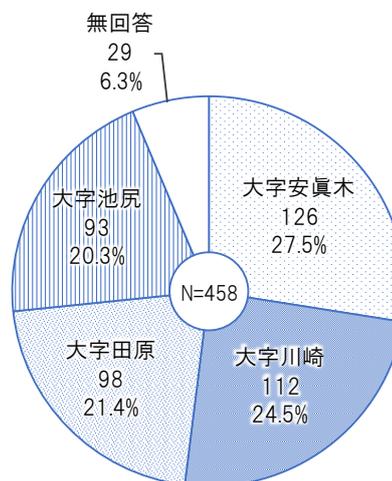
「75歳以上」が22.1%で最も多い。次いで「65歳～69歳(15.3%)」「70歳～74歳(13.3%)」となっている。

20歳代～50歳代の回答者は、全体の33.5% (3分の1程度) となっており、60歳代以上の回答が多くなっている。



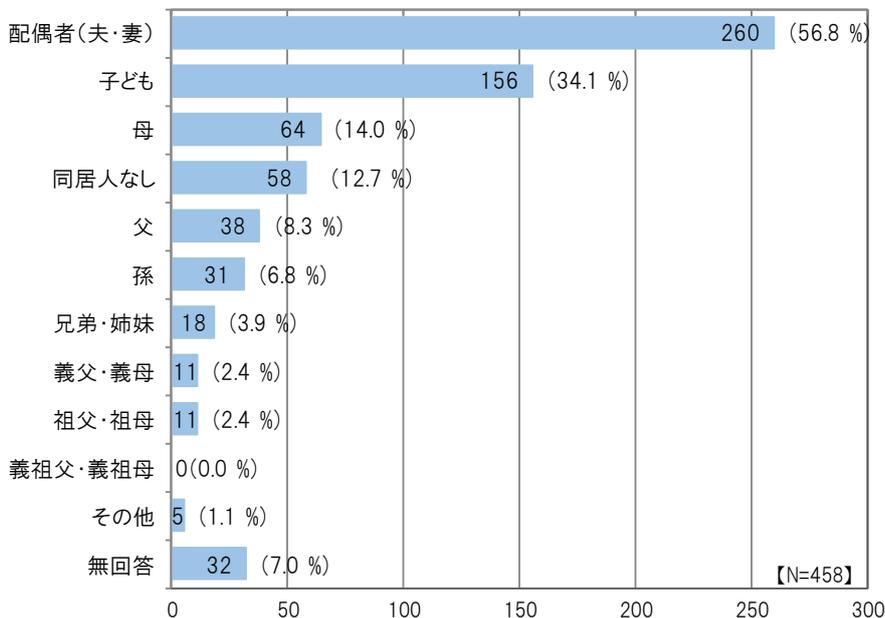
##### あなたのお住まいの地域をお教えてください。

「大字安真木」が27.5%で最も多い。次いで「大字川崎(24.5%)」となっている。



**あなたが同居している家族をお教えてください。あなたからみた続柄でお答えください。（複数回答）**

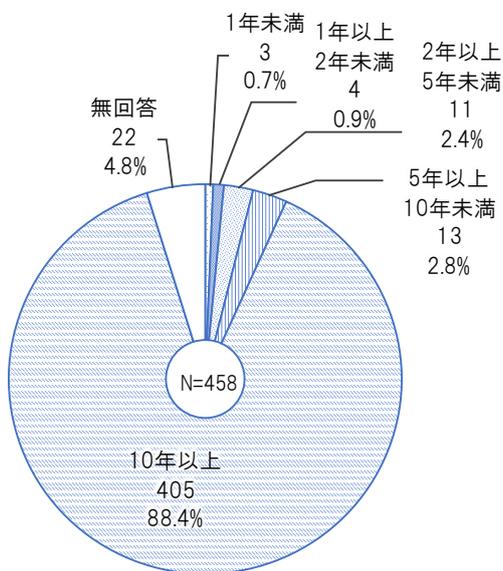
「配偶者（夫・妻）」が56.8%で最も多い。次いで「子ども（34.1%）」となっている。



その他の意見
父の姉
同居人1人

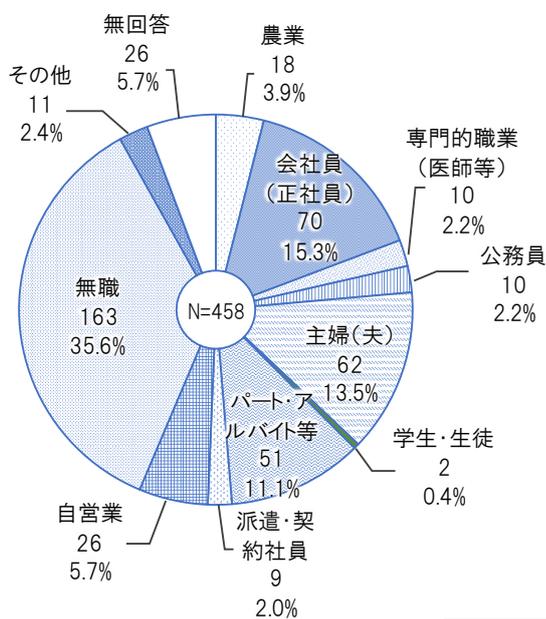
**あなたは川崎町にお住まいになって何年になりますか。**

「10年以上」が88.4%で最も多い。



**あなたの職業をお教えてください。**

「無職」が 35.6%で最も多い。次いで「会社員（正社員）（15.3%）」「主婦（夫）（13.5%）」となっている。



その他の意見	件数
介護士	2
団体職員	1
保育士	1

## まちの現状に関する認識や評価について

-凡例-

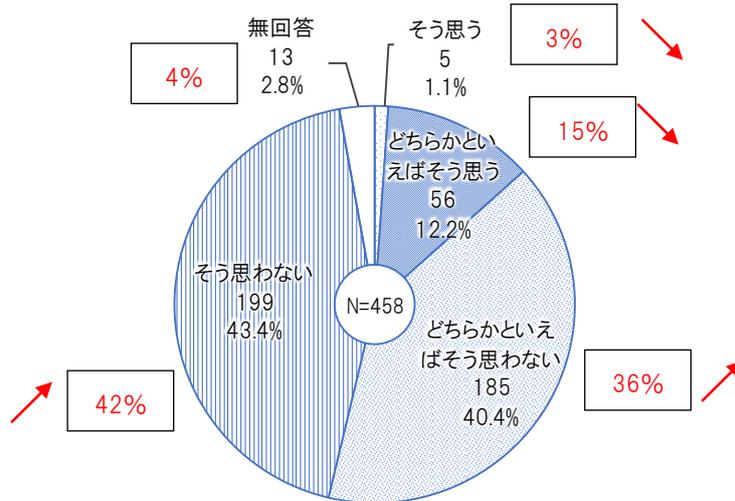
% 前回計画時の%

↘ ↗ 前回計画時からの増減

増減の色 赤:悪化 青:改善 黄色:変化なし

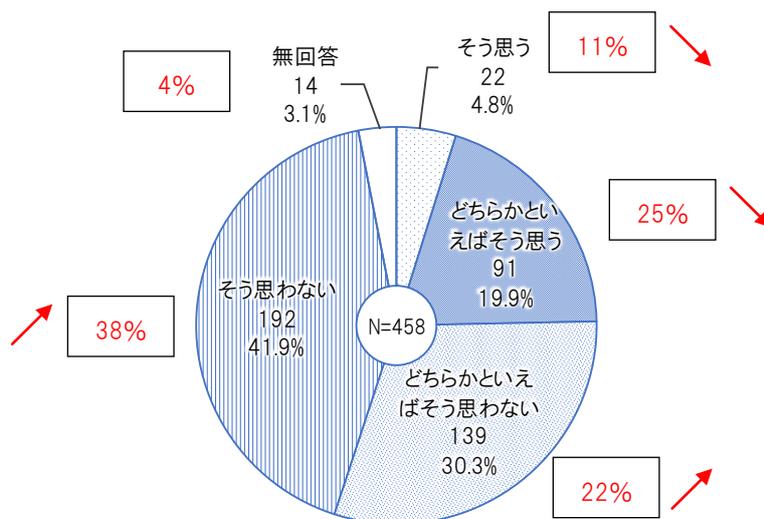
### あなたは、川崎町は活気があるまちだと思いますか。

「そう思わない」が43.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(40.4%)」となっている。



### あなたは、川崎町は便利なまち（交通、買い物の便がよいなど）だと思いますか。

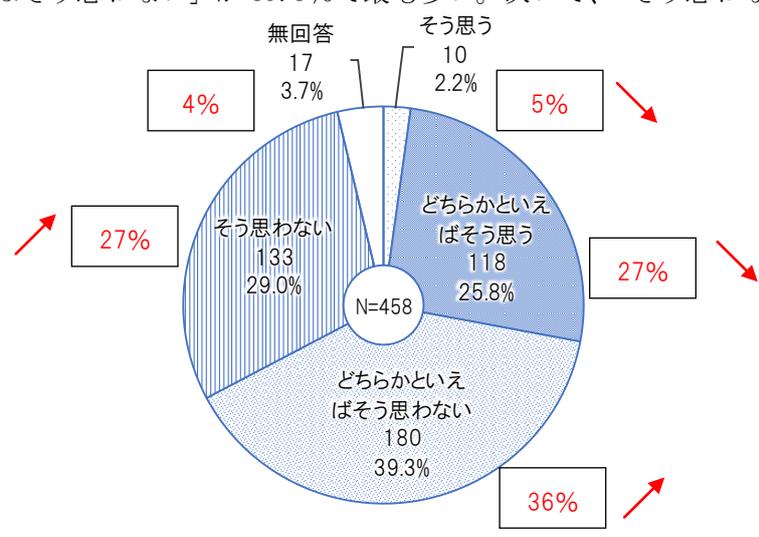
「そう思わない」が41.9%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(30.3%)」となっている。





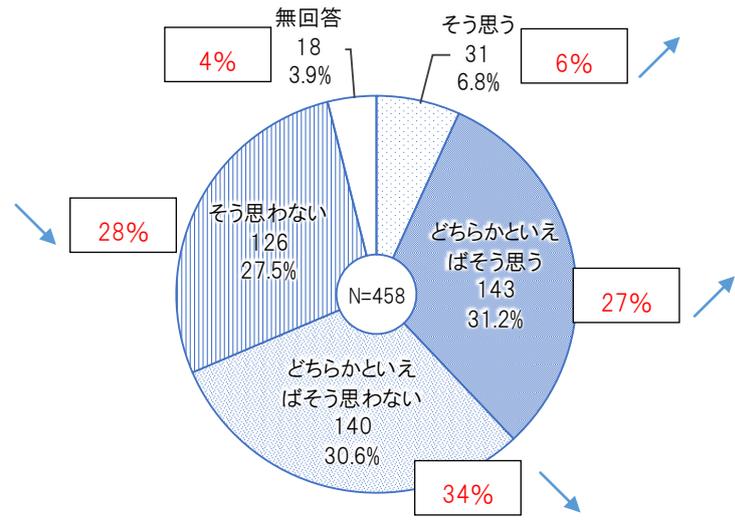
**あなたは、川崎町はふれあいや連帯感があるまちだと思いますか。**

「どちらかといえばそう思わない」が39.3%で最も多い。次いで、「そう思わない(29.0%)」となっている。



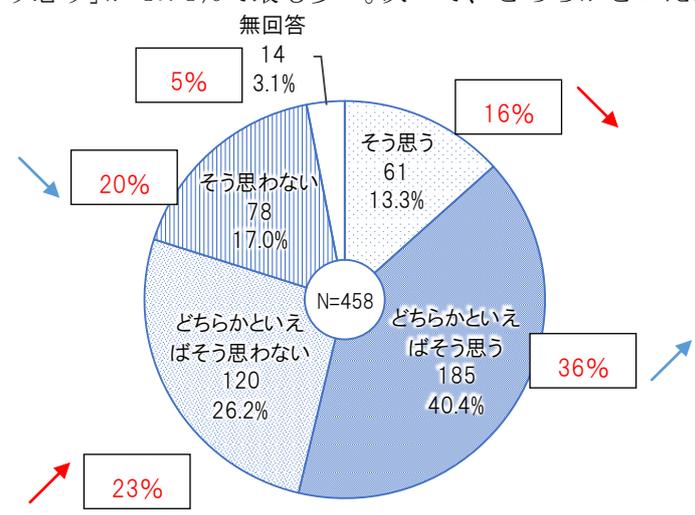
**あなたは、川崎町はよその人も受入れる開かれたまちだと思いますか。**

「どちらかといえばそう思う」が31.2%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(30.6%)」となっている。



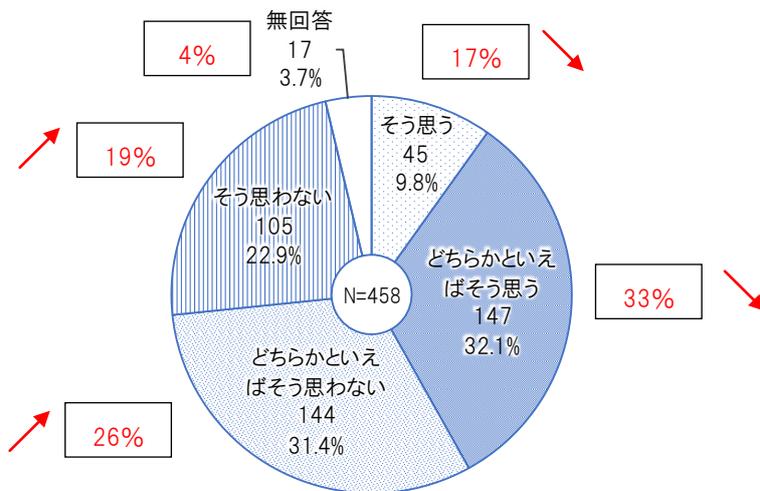
**あなたは、川崎町は安全に暮らせるまち（災害、事件、事故が少ないなど）だと思いますか。**

「どちらかといえばそう思う」が40.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(26.2%)」となっている。



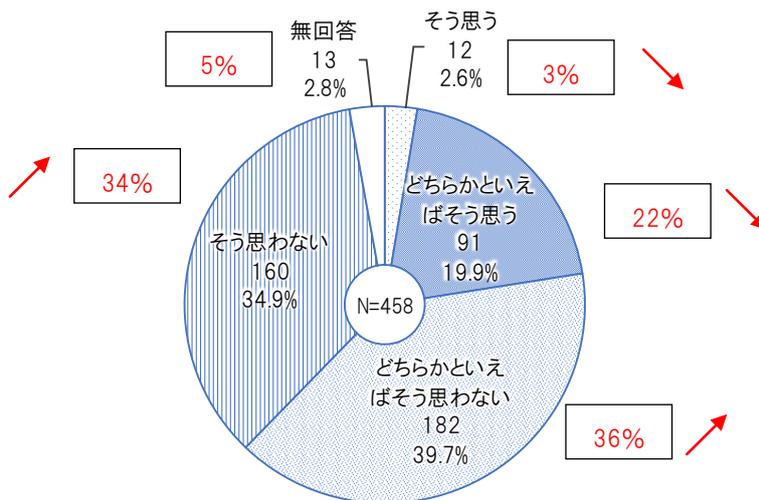
**あなたは、川崎町は安心して医療が受けられるまちだと思いますか。**

「どちらかといえばそう思う」が32.1%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(31.4%)」となっている。



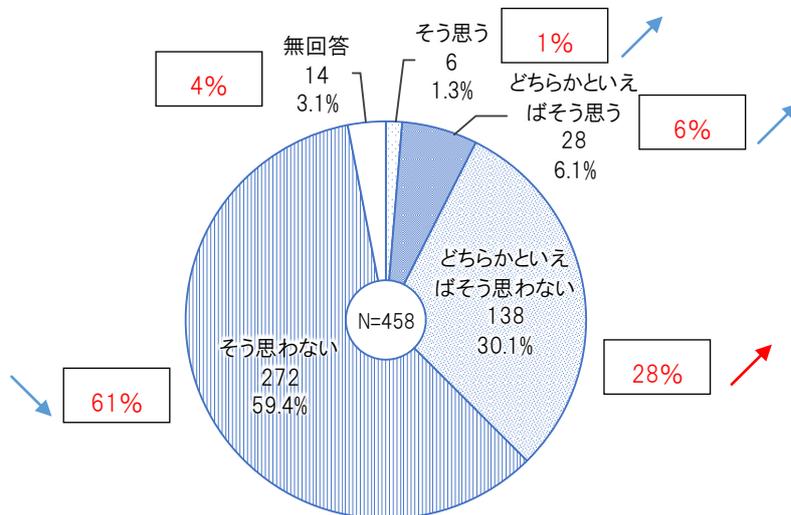
**あなたは、川崎町は美しいまち（景観や町並み、ごみが散乱していないなど）だと思いますか。**

「どちらかといえばそう思わない」が39.7%で最も多い。次いで、「そう思わない(34.9%)」となっている。



**あなたは、川崎町は若い人が都会から戻って暮らせるまちだと思いますか。**

「そう思わない」が59.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(30.1%)」となっている。





## 定住意欲、町への愛着度、町の理解度について

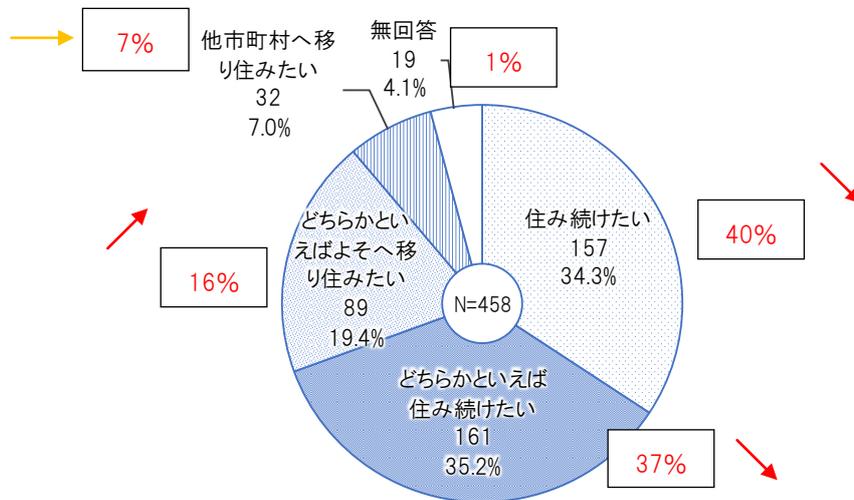
あなたは、川崎町に住み続けたいと思いますか。また、その理由をお教えてください。

「どちらかといえば住み続けたい」が35.2%で最も多い。次いで、「住み続けたい(34.3%)」となっている。

年齢別で見ると、70歳以上は、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人が8割を占めるが、30歳代は、「よそへ移り住みたい」と回答した人が5割を超えている。

「住み続けたい」理由として、全地区を通して「子どもの頃から住んでいるから」、「家があるから」、「親がいるから」がほとんどとなっている。

「移り住みたい」主な理由として、安真木地区では、「交通の便の悪さ」や「生活不便」、川崎地区では、「イメージの悪さ」「交通不便」、田原地区では、「イメージの悪さ・治安の悪さ」、池尻地区では、「交通不便」が理由としてあげられている。



■各属性のクロス集計結果

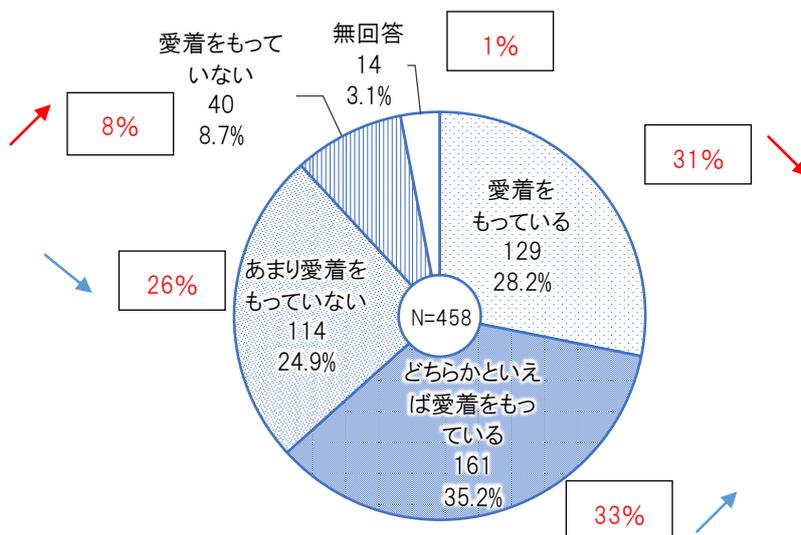
属性	サンプル数	住み続けたい					無回答
		住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえばよそへ移り住みたい	よそへ移り住みたい	他市町村へ移り住みた	
全体	458	157	161	89	32	19	
	100.0%	34.3%	35.2%	19.4%	7.0%	4.1%	
性別	男性	181	70	62	31	9	
	100.0%	38.7%	34.3%	17.1%	5.0%	5.0%	
性別	女性	254	75	96	54	20	
	100.0%	29.5%	37.8%	21.3%	7.9%	3.5%	
年齢別	20歳代	24	2	10	7	4	
	100.0%	8.3%	41.7%	29.2%	16.7%	4.2%	
	30歳代	28	2	10	11	4	
	100.0%	7.1%	35.7%	39.3%	14.3%	3.6%	
	40歳代	46	11	18	14	3	
	100.0%	23.9%	39.1%	30.4%	6.5%	0.0%	
	50歳代	56	15	20	15	5	
	100.0%	26.8%	35.7%	26.8%	8.9%	0.0%	
年齢別	60歳～64歳	47	14	20	10	2	
	100.0%	29.8%	42.6%	21.3%	0.0%	2.1%	
年齢別	65歳～69歳	70	23	26	15	2	
	100.0%	32.9%	37.1%	21.4%	2.9%	5.7%	
年齢別	70歳～74歳	61	26	23	7	3	
	100.0%	42.6%	37.7%	11.5%	4.9%	0.0%	
年齢別	75歳以上	101	52	28	7	6	
	100.0%	51.5%	27.7%	6.9%	5.9%	7.9%	
地域別	大字安真木	126	49	38	29	5	
	100.0%	38.9%	30.2%	23.0%	4.0%	4.0%	
	大字川崎	112	33	43	23	10	
	100.0%	29.5%	38.4%	20.5%	8.9%	0.0%	
	大字田原	98	28	36	22	7	
100.0%	28.6%	38.8%	22.4%	7.1%	3.1%		
地域別	大字池尻	93	34	34	11	7	
	100.0%	36.6%	36.6%	11.8%	7.5%	7.5%	

**あなたは、川崎町に「自分のまち」という愛着をもっていますか。**

「どちらかといえば愛着をもっている」が 35.2% で最も多い。次いで、「愛着をもっている (28.2%)」「あまり愛着をもっていない (24.9%)」となっている。

年齢別でみると、70 歳以上は 7 割を超える人が「愛着をもっている」「どちらかといえば愛着をもっている」と回答している。

しかし、20 歳代と 60 歳～64 歳は、愛着をもっていない割合が高くなっている。



**■ 各属性のクロス集計結果**

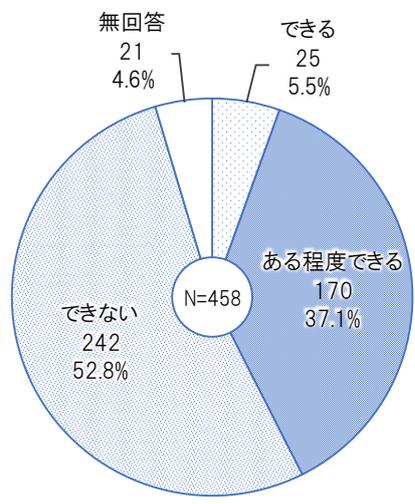
数値： 上段：件数 下段：%		サンプル数	愛着をもっている	どちらかといえば愛着をもっている	どちらかといえば愛着をもっていない	愛着をもっていない	無回答
全体		458 100.0 %	129 28.2 %	161 35.2 %	114 24.9 %	40 8.7 %	14 3.1 %
性別	男性	181 100.0 %	57 31.5 %	65 35.9 %	42 23.2 %	11 6.1 %	6 3.3 %
	女性	254 100.0 %	66 26.0 %	89 35.0 %	66 26.0 %	26 10.2 %	7 2.8 %
年齢別	20歳代	24 100.0 %	3 12.5 %	8 33.3 %	11 45.8 %	1 4.2 %	1 4.2 %
	30歳代	28 100.0 %	3 10.7 %	12 42.9 %	7 25.0 %	5 17.9 %	1 3.6 %
	40歳代	46 100.0 %	6 13.0 %	20 43.5 %	12 26.1 %	8 17.4 %	0 0.0 %
	50歳代	56 100.0 %	12 21.4 %	21 37.5 %	18 32.1 %	4 7.1 %	1 0.0 %
	60歳～64歳	47 100.0 %	11 23.4 %	14 29.8 %	18 38.3 %	4 8.5 %	0 0.0 %
	65歳～69歳	70 100.0 %	22 31.4 %	24 34.3 %	13 18.6 %	8 11.4 %	3 4.3 %
	70歳～74歳	61 100.0 %	24 39.3 %	20 32.8 %	14 23.0 %	1 1.6 %	2 0.0 %
	75歳以上	101 100.0 %	42 41.6 %	34 33.7 %	14 13.9 %	6 5.9 %	5 5.0 %
地域別	大字安真木	126 100.0 %	43 34.1 %	43 34.1 %	30 23.8 %	7 5.6 %	3 2.4 %
	大字川崎	112 100.0 %	28 25.0 %	42 37.5 %	26 23.2 %	13 11.6 %	3 2.7 %
	大字田原	98 100.0 %	22 22.4 %	32 32.7 %	29 29.6 %	12 12.2 %	3 3.1 %
	大字池尻	93 100.0 %	29 31.2 %	34 36.6 %	21 22.6 %	5 5.4 %	4 4.3 %



あなたは、川崎町の良いところを町外の人に説明できますか。

「できない」が52.8%で最も多い。次いで、「ある程度できる(37.1%)」となっている。

年齢別で見ると、30歳代は「できない」と回答した人が7割を超え、40歳代は「ある程度できる」と回答した人が5割を超えている。



■各属性のクロス集計結果

数値： 上段：件数 下段：%		サンプル数	できる	ある程度できる	できない	無回答
全体		458	25 5.5%	170 37.1%	242 52.8%	21 4.6%
性別	男性	181	10 5.5%	68 37.6%	94 51.9%	9 5.0%
	女性	254	14 5.5%	91 35.8%	137 53.9%	12 4.7%
年齢別	20歳代	24	0 0.0%	10 41.7%	13 54.2%	1 4.2%
	30歳代	28	2 7.1%	6 21.4%	20 71.4%	0
	40歳代	46	2 4.3%	24 52.2%	20 43.5%	0
	50歳代	56	0 0.0%	24 42.9%	30 53.6%	2
	60歳～64歳	47	4 8.5%	11 23.4%	31 66.0%	1
	65歳～69歳	70	5 7.1%	21 30.0%	40 57.1%	4
	70歳～74歳	61	5 8.2%	25 41.0%	28 45.9%	3
	75歳以上	101	6 5.9%	38 37.6%	47 46.5%	10
地域別	大字安真木	126	9 7.1%	55 43.7%	56 44.4%	6
	大字川崎	112	4 3.6%	32 28.6%	72 64.3%	4
	大字田原	98	3 3.1%	31 31.6%	60 61.2%	4
	大字池尻	93	8 8.6%	38 40.9%	40 43.0%	7

## 川崎町のまちづくりについて

あなたが、川崎町が町の魅力として発信していくべきだと思うものは何ですか。人物、食べ物、イベント、産業、場所、施設、歴史、物語、方言など何でも自由にあげてください。

町の魅力として発信していくべきだと思うものについて、「イベント」をあげた人が最も多く、次いで「食べ物」「施設」「歴史」となっている。

イベント		159
イベント		105
パン博など		29
盆踊り等の祭り		10
福祉まつり		3
地域のお祭り		2
神幸祭		2
パンだけではなく食品の展示会		1
産業祭（ふっとうてん）		1
自然の豊かさを活かしたイベント		1
真崎の祇園祭り		1
体験型イベント		1
獅子舞		1
地域公民館でのイベント		1
文化的行事・イベント		1
食べ物		146
食べ物		109
農産物		7
米		5
野菜		5
町特産品		3
果物		3
川崎町名物の食べ物		2
りんご		2
物価が安い（食材）		2
名産品の発信		2
から揚げ		1
地元産物を活かした料理		1
田舎ならではの特産物のアピール（天然の山芋＝自然薯）等		1
水		1
トマト		1
みかん		1
施設・場所		138
施設		58
場所		42
ラピュタファーム		8
De・愛		4
保育園・幼稚園が多いこと		3
施設（道路）		2
何か分からないけどここにしかない施設や風景		1
劇場がある		1
公園		1
散歩コース		1
図書館等公共施設		1
多目的会場		1
給食センター		1
買い物が便利（スーパーの多さ）		1
パチンコ屋が多いこと		1



第1部 序論【第1章】

第1部 序論【第2章】

第2部 基本構想

第3部 基本計画

第4部 資料編

場所 (安真木)	1
De・愛からトンネルまでの散歩道	1
ふるさと館 De・愛までの道	1
お店	1
スーパー川食	1
なひこ畑の設備の美化	1
月に一度の食育館	1
現在ある道の駅を活気あるものに活用する	1
施設 (B&G など)	1
老人のお茶をする所	1
おおとう街道	1
フェザント C.C.	1
<b>歴史</b>	<b>85</b>
歴史・史実	76
炭鉱の歴史	7
史跡	2
<b>産業</b>	<b>67</b>
産業	63
若い人が働ける産業	2
新たな産業	1
地元の産業	1
<b>人物</b>	<b>55</b>
人物	42
人が優しい	3
町のために活動してくれる人	2
人情	2
誠実	1
思いやり	1
子ども係の方が心配事があると丁寧に対応してくれる	1
自治体としての人権意識の高さ	1
町職員の対応が良い	1
町民の人柄	1
<b>自然</b>	<b>29</b>
自然	18
環境	2
空気	1
ほたる	1
真崎の道の駅近辺の川棚	1
安宅の自然	1
安宅の彼岸花	1
安真木地区の景観	1
炭層の種類	1
川	1
風景アピール	1
<b>観光</b>	<b>27</b>
魚楽園	12
雪舟の庭	5
観光	3
ぶどう・柿等果樹園としての PR	1
りんご園等観光	1
神社などパワースポット	1
淡島神社	1
魚楽園を桜街道みたいになりたい	1
小梅ちゃんの湯	1
雪舟ロードの活用 (蛍見物・マラソン大会など)	1

<b>安心・安全等</b>		<b>9</b>
	災害が少ない	6
	安全	1
	治安の良さ	1
	住みやすさ	1
<b>医療</b>		<b>6</b>
	医療	1
	健診が無料	1
	病院	1
	健康づくり	1
	早めの用心のための健康診断	1
	町立病院の存続と整備	1
<b>その他</b>		<b>48</b>
	方言	14
	物語	7
	交通	3
	小梅ちゃん	3
	農業	2
	スポーツ	2
	子育て	2
	教育	1
	福祉	1
	エコ	1
	リサイクル	1
	市に隣接	1
	福岡・北九州の2つの政令指定都市に近い	1
	新しい団地	1
	努力	1
	絆	1
	良いモラル	1
	ジョイフルの売上げが日本一と聞いたことがある	1
	剣道	1
	静か	1
	日田彦山線（JR）	1
	他地域への移動が良い（ただし車で）	1

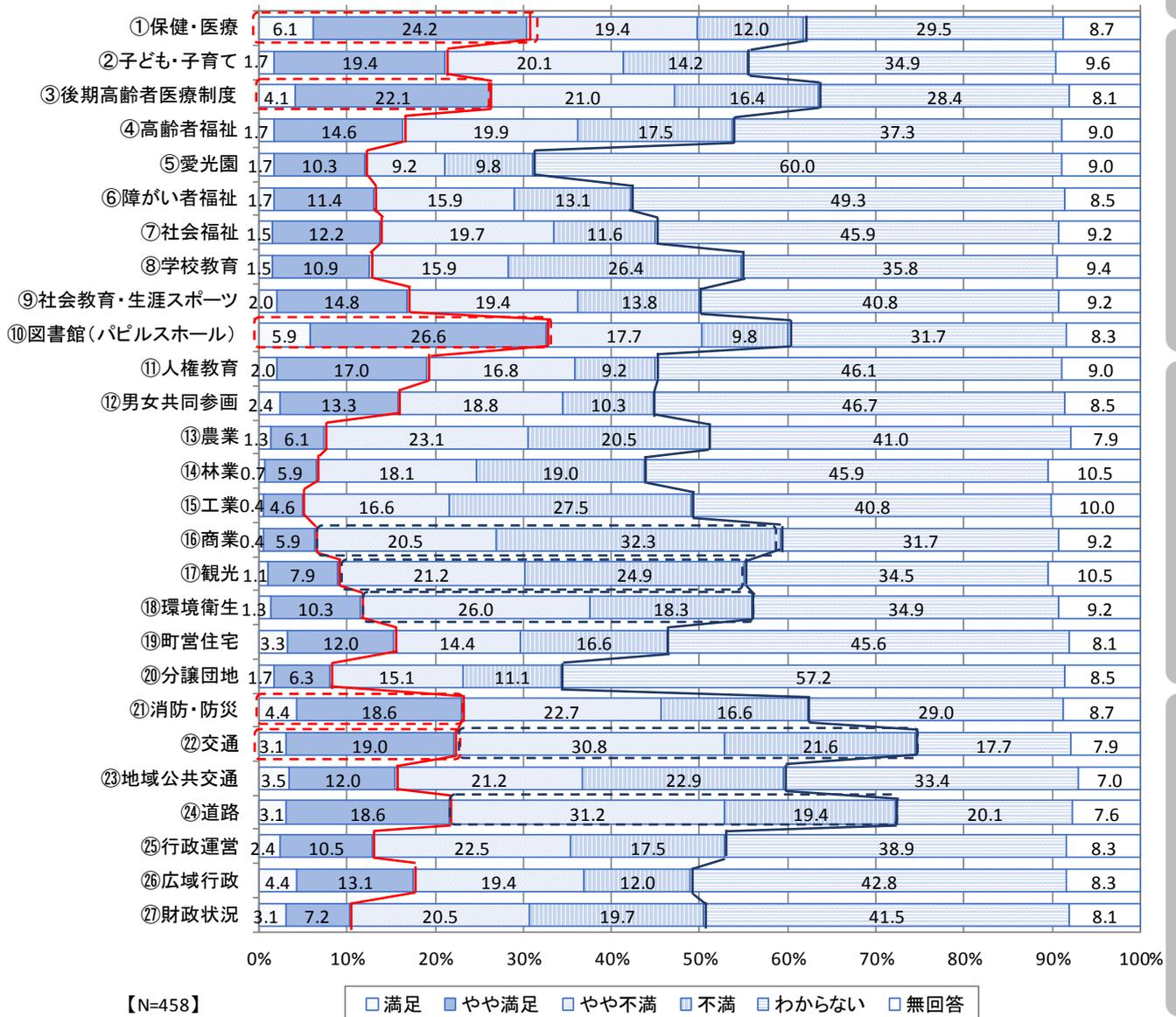


あなたが川崎町で暮らすなかで、以下の①～⑳の項目の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

【満足度】

満足度が高い上位5項目は、「⑩図書館（パピルスホール）」「①保健・医療」 「③後期高齢者医療制度」 「②消防・防災」 「②交通」。

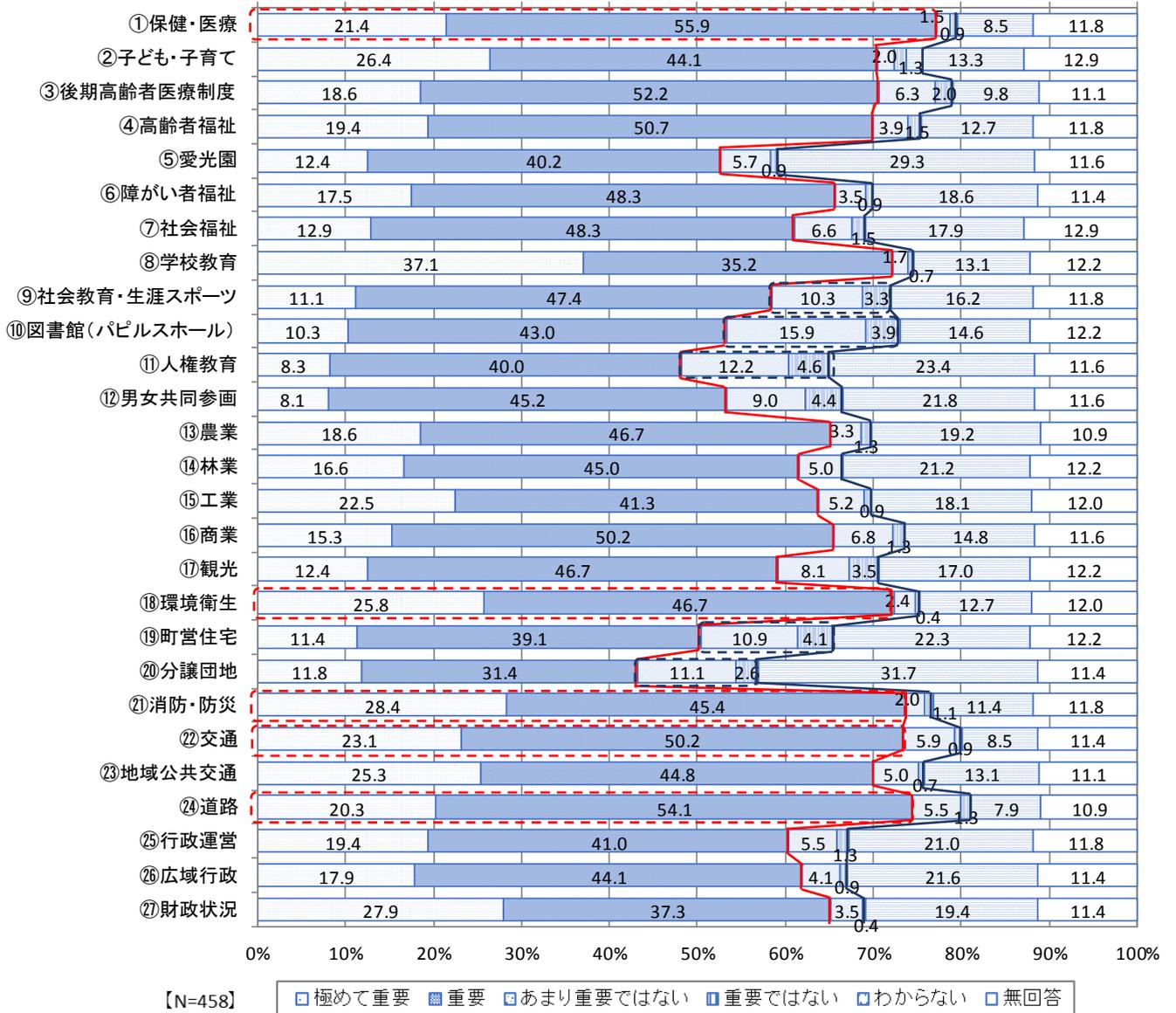
不満度が高い上位5項目は、「⑩商業」 「②交通」 「④道路」 「①⑦観光」 「⑩環境衛生」。



【重要度】

重要度が高い上位5項目は、「①保健・医療」「②④道路」「②②消防・防災」「②②交通」「①⑧環境衛生」。

重要度が低い上位5項目は、「⑩図書館（パピルスホール）」「⑪人権教育」「⑱町営住宅」「⑳分譲団地」「⑨社会教育・生涯スポーツ」。

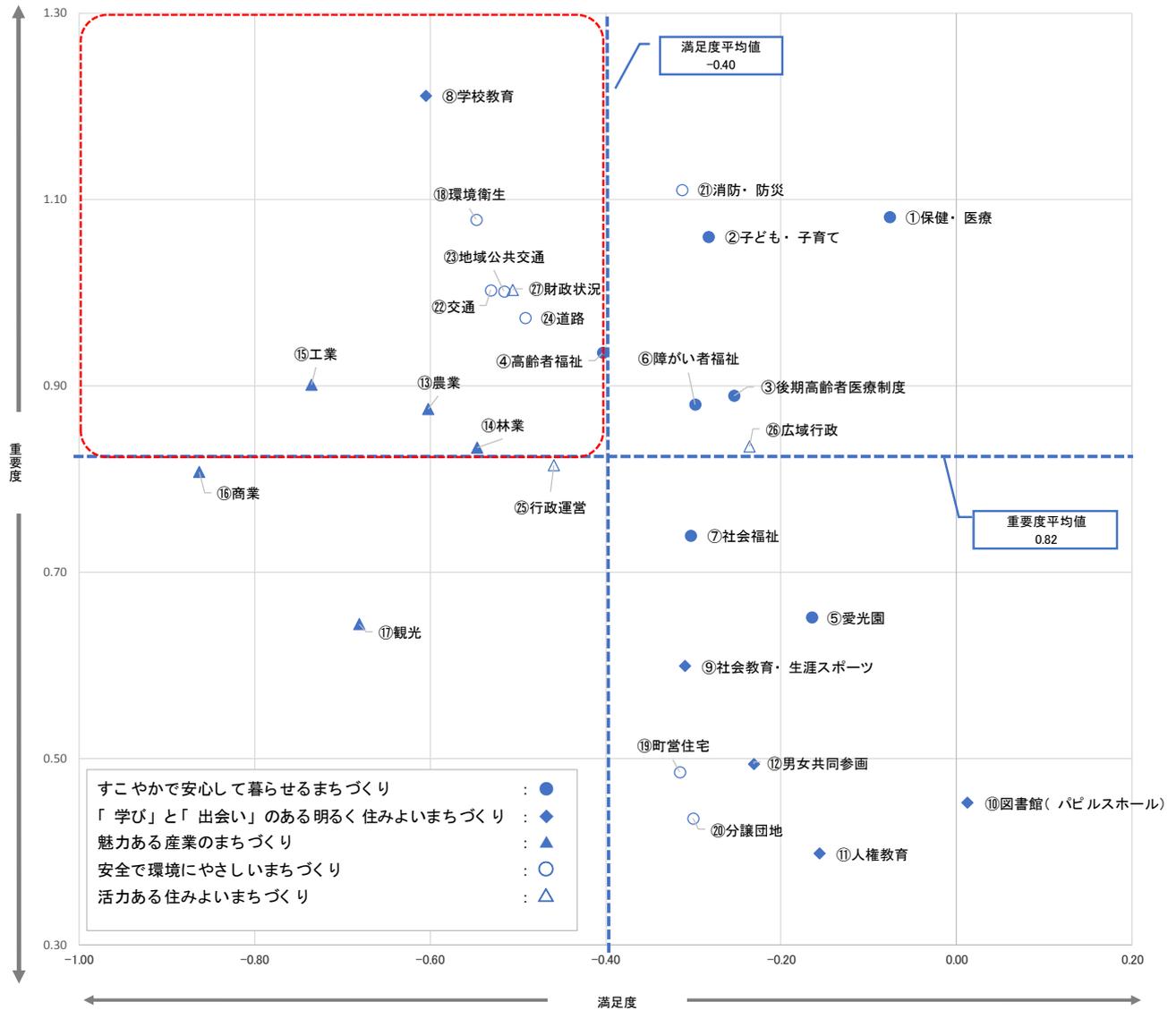




### 【川崎町の取組みに対する重要度と満足度の相関関係】

町民が、「重要度が高い」と評価している取組みの上位5つは、「⑧学校教育」「⑫消防・防災」「①保健・医療」「⑱環境衛生」「⑫子ども・子育て」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「⑫交通」「⑫地域公共交通」「⑫財政状況」「⑫道路」「④高齢者福祉」「⑮工業」「⑬農業」「⑭林業」があげられる。



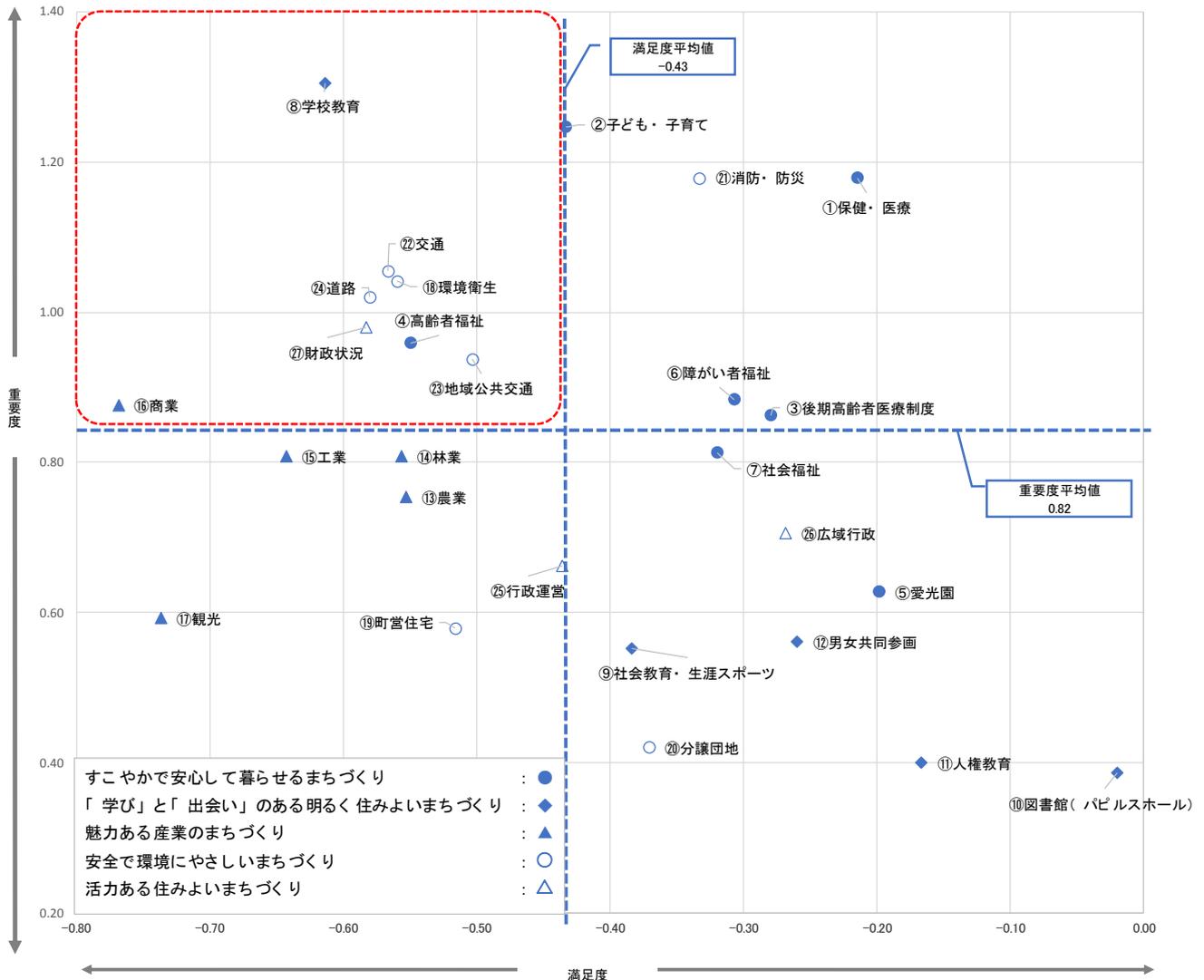
**【加重平均の算出方法】**

①満足度	②重要度	左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値」を算出
満足 : 2点	極めて重要 : 2点	
やや満足 : 1点	重要 : 1点	
やや不満 : -1点	あまり重要ではない : -1点	
不満 : -2点	重要ではない : -2点	
わからない : 0点	わからない : 0点	

## ■20～50 歳代（n = 154）

50 歳代以下の町民が、「重要度が高い」と評価している取組みの上位 5 つは、「⑧学校教育」「②子ども・子育て」「①保健・医療」「②②消防・防災」「②②交通」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「②②交通」「①⑧環境衛生」「②④道路」「②⑦財政状況」「④④高齢者福祉」「②③地域公共交通」「①⑥商業」があげられる。



### 【加重平均の算出方法】

①満足度		②重要度	
満足	: 2点	極めて重要	: 2点
やや満足	: 1点	重要	: 1点
やや不満	: -1点	あまり重要ではない	: -1点
不満	: -2点	重要ではない	: -2点
わからない	: 0点	わからない	: 0点

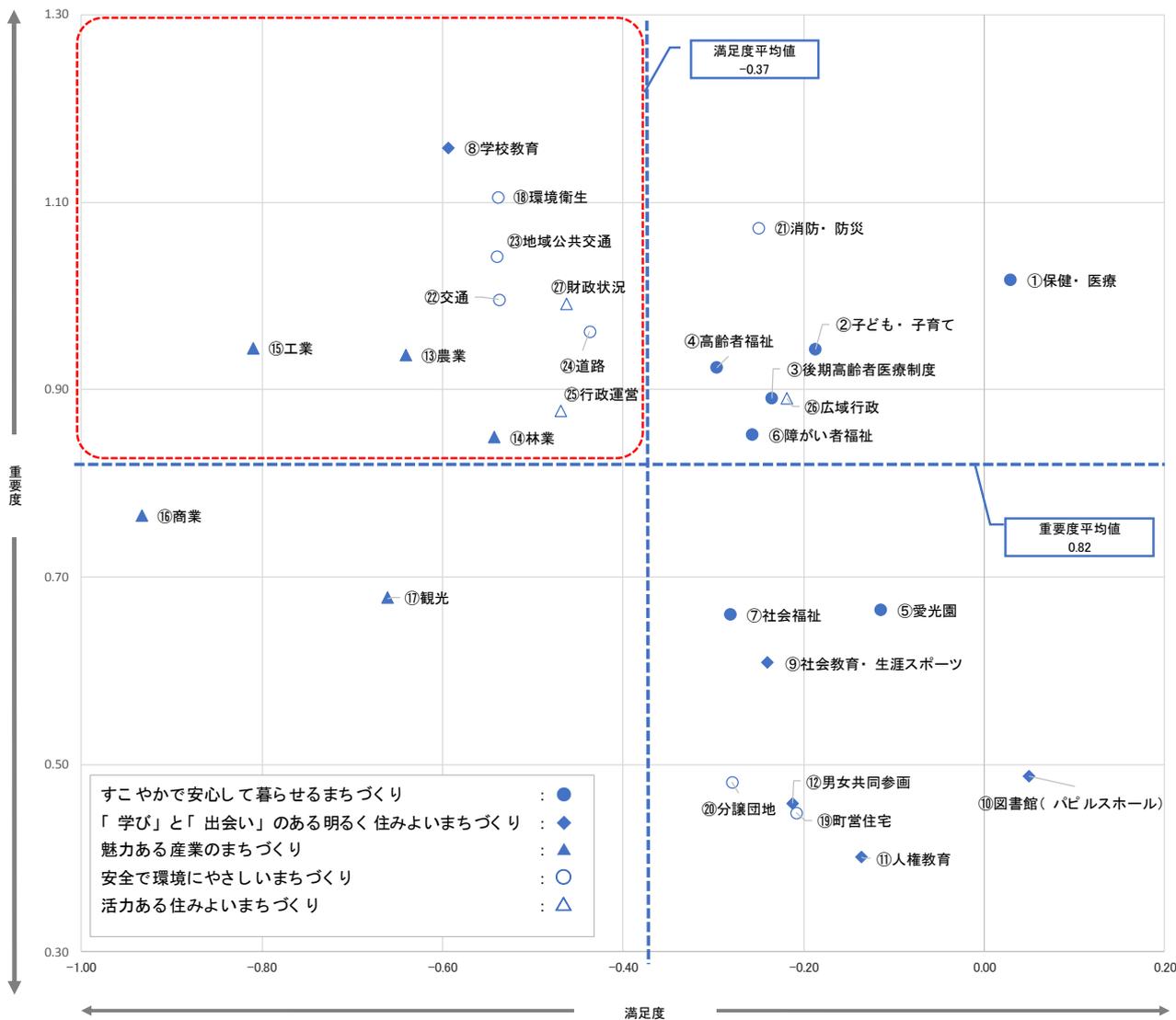
左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値」を算出



### ■60歳代以上（n=279）

60歳代以上の町民が、「重要度が高い」と評価している取組みの上位5つは、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「㉑消防・防災」「㉓地域公共交通」「①保健・医療」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「㉓地域公共交通」「㉒交通」「㉗財政状況」「㉔道路」「⑮工業」「⑬農業」「㉕行政運営」「⑭林業」があげられる。

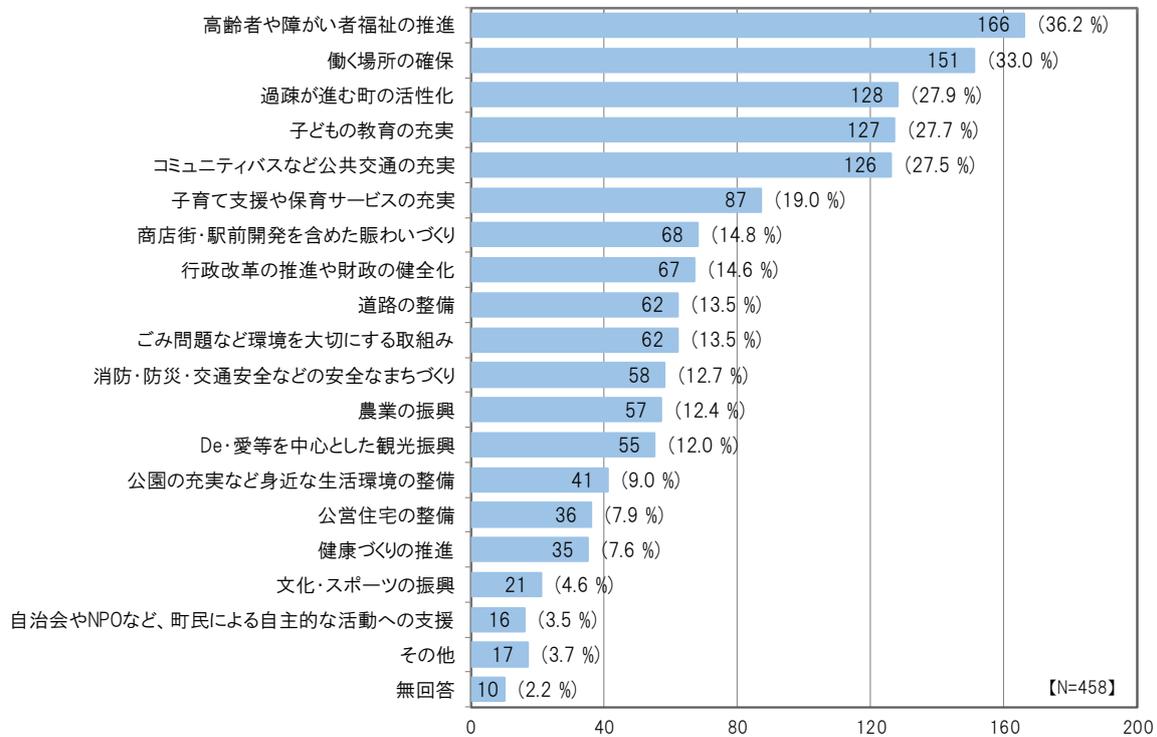


**【加重平均の算出方法】**

①満足度	②重要度	} 左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値」を算出
満足 : 2点	極めて重要 : 2点	
やや満足 : 1点	重要 : 1点	
やや不満 : -1点	あまり重要ではない : -1点	
不満 : -2点	重要ではない : -2点	
わからない : 0点	わからない : 0点	

**あなたが、今後約5年の間に町役場がこれまでよりも特に力を入れてほしいと思う取組みは何ですか。（複数回答）**

「高齢者や障がい者福祉の推進」が36.2%で最も多い。次いで、「働く場所の確保（33.0%）」「過疎が進む町の活性化（27.9%）」「子どもの教育の充実（27.7%）」「コミュニティバスなど公共交通の充実（27.5%）」となっている。

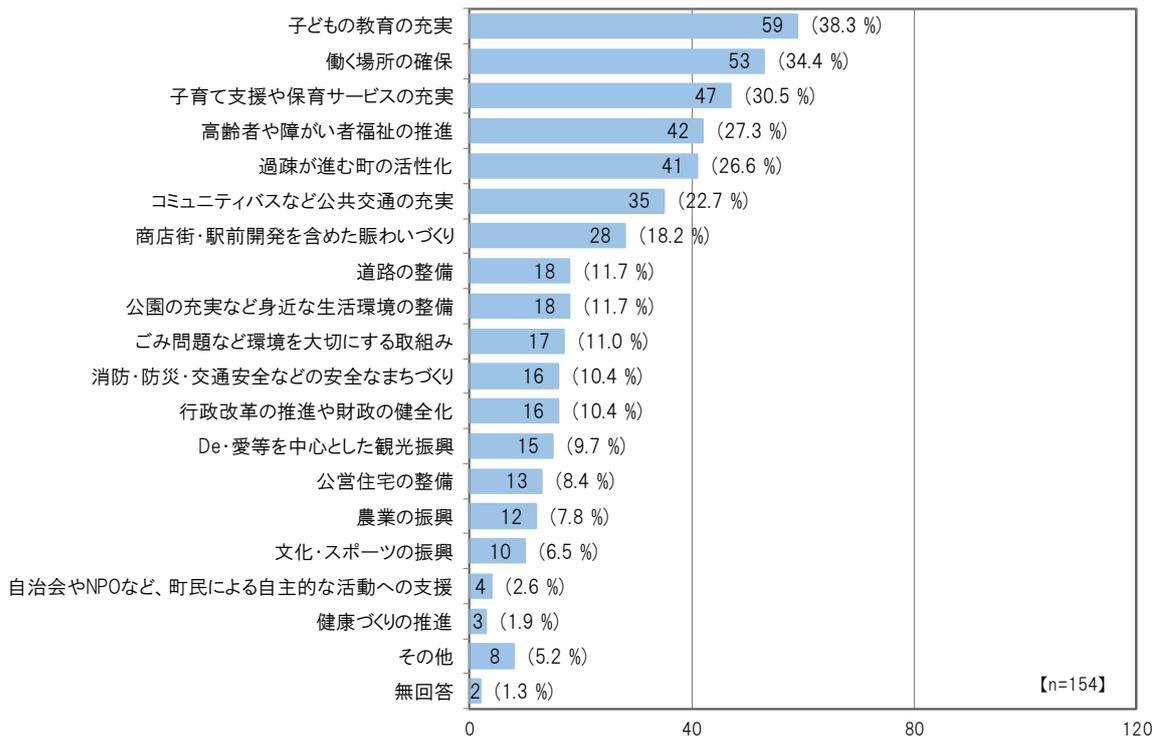


その他の意見
役場からの放送が全く聞こえないので、内容が理解できないので、各家庭に無線がほしい
全町民が参加できる催し物
母子家庭への援助
生活保護費等の厳格な見直し
医療（適切に受けられない人のために、もっと広報が制度を整えるべき）
どの部署もお金の使い方を公表すること。一括交付金の使い方は、不透明
道路にはみ出した枝の伐採など
役場の職員の体制
防犯カメラの設置
空き家問題
池
De・愛が町中にあると便利
よくわかりません。すべてに頑張って下さっていると思うので
中高年が置き去りにになっている。所得の低い人は大変。生活できない。
町内だけに限らないが、車で走っていると草と木が邪魔
・人口が減っているので、若い人を呼び込める行政作りをしてほしい。 ・子どもたちの教育保障を充実させてほしい。 ・高齢者対策をきちんと考えてほしい。川崎町でも60歳以上は4割以上はいると思います。
行政改革。必要なものはどんどん取り入れ、不要なものはカットしていく。

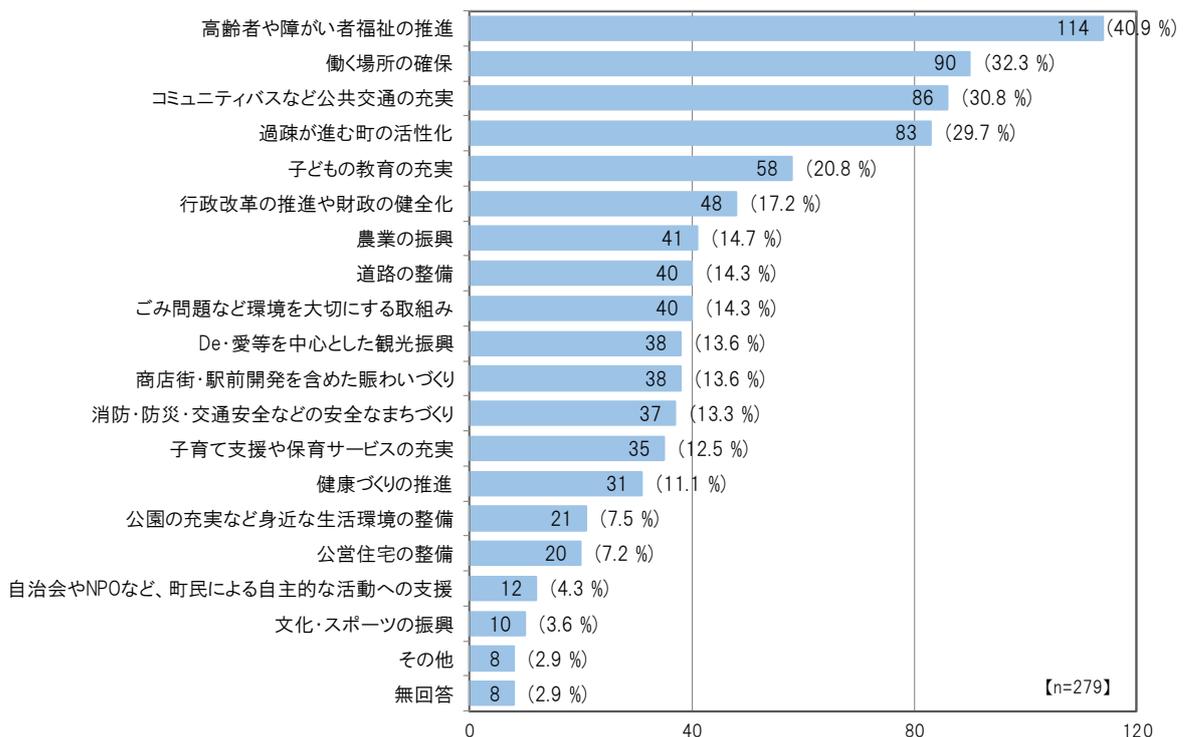


年代別でみると、50歳代以下は、「子どもの教育の充実」が38.3%で最も多い。次いで、「働く場所の確保(34.4%)」「子育て支援や保育サービスの充実(30.5%)」「高齢者や障がい者福祉の推進(27.3%)」「過疎が進む町の活性化(26.6%)」となっている。60歳代以上は、「高齢者や障がい者福祉の推進」が40.9%で最も多い。次いで、「働く場所の確保(32.3%)」「コミュニティバスなど公共交通の充実(30.8%)」「過疎が進む町の活性化(29.7%)」となっている。

### ■ 20～50 歳代



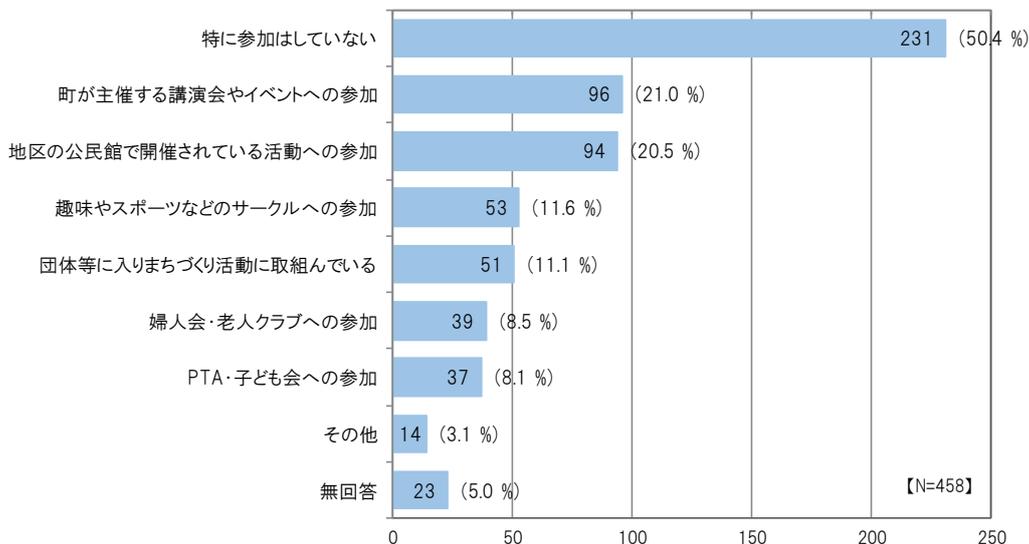
### ■ 60 歳代以上



**あなたのまちづくり活動への参加状況をお教えてください。（複数回答）**

「特に参加はしていない」が 50.4%で最も多い。次いで、「町が主催する講演会やイベントへの参加 (21.0%)」「地区の公民館で開催されている活動への参加 (20.5%)」となっている。

年齢別でみると、20歳代は「特に参加はしていない」と回答した人が7割近くになっている。40歳代は、「PTA・子ども会への参加」と回答した人が3割近くになっている。



**■各属性のクロス集計結果**

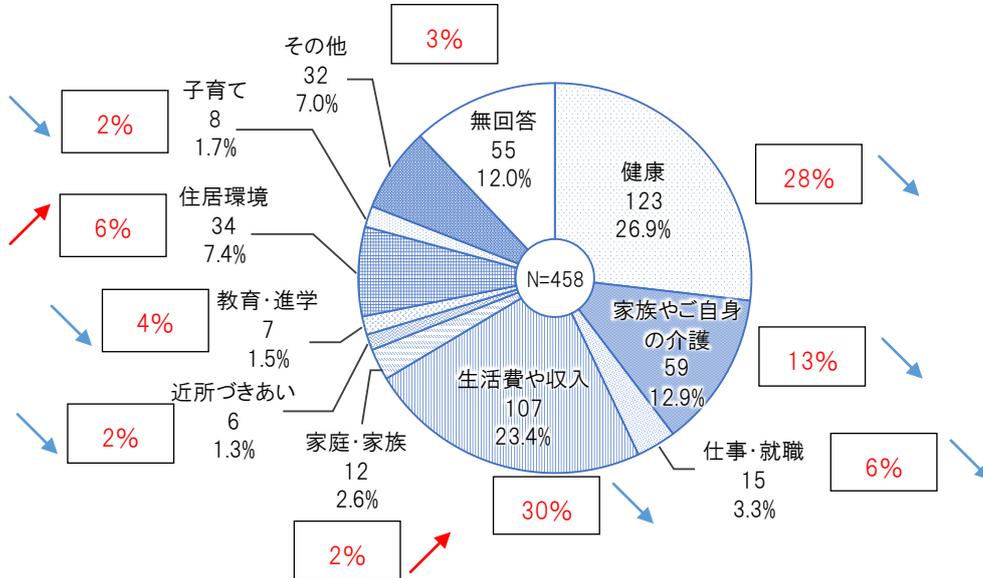
属性	数値： 上段：件数 下段：%	サンプル数	いくつ 団体等 に入り まちづ くり活 動に 取り組 んでい る	町が主 催する 講演会 への参 加	地区の 公民館 で開催 されて いる活 動への 参加	P T A ・ 子 ど も 会 へ の 参 加	婦 人 会 ・ 老 人 ク ラ ブ へ の 参 加	の 趣 味 や ス ポ ー ツ な ど の サ ー ク ル へ の 参 加	い 特 に 参 加 は し て い な い	そ の 他	無 回 答
		全体	458 100.0%	51 11.1%	96 21.0%	94 20.5%	37 8.1%	39 8.5%	53 11.6%	231 50.4%	14 3.1%
性別	男性	181 100.0%	26 14.4%	31 17.1%	41 22.7%	11 6.1%	14 7.7%	20 11.0%	94 51.9%	5 2.8%	11 6.1%
	女性	254 100.0%	21 8.3%	58 22.8%	41 16.1%	24 9.4%	24 9.4%	29 11.4%	129 50.8%	8 3.1%	12 4.7%
年齢別	20歳代	24 100.0%	1 4.2%	2 8.3%	1 4.2%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	16 66.7%	1 4.2%	2 8.3%
	30歳代	28 100.0%	1 3.6%	8 28.6%	5 17.9%	7 25.0%	0 0.0%	2 7.1%	11 39.3%	1 3.6%	1 3.6%
	40歳代	46 100.0%	4 8.7%	13 28.3%	5 10.9%	13 28.3%	0 0.0%	5 10.9%	22 47.8%	2 4.3%	2 4.3%
	50歳代	56 100.0%	2 3.6%	16 28.6%	17 30.4%	8 14.3%	1 1.8%	7 12.5%	22 39.3%	4 7.1%	0 0.0%
	60歳～64歳	47 100.0%	8 17.0%	9 19.1%	9 19.1%	2 4.3%	2 4.3%	4 8.5%	32 68.1%	2 4.3%	0 0.0%
	65歳～69歳	70 100.0%	9 12.9%	11 15.7%	12 17.1%	0 0.0%	1 1.4%	8 11.4%	40 57.1%	1 1.4%	3 4.3%
	70歳～74歳	61 100.0%	9 14.8%	16 26.2%	16 26.2%	0 0.0%	9 14.8%	9 14.8%	35 57.4%	1 1.6%	1 1.6%
	75歳以上	101 100.0%	14 13.9%	14 13.9%	17 16.8%	2 2.0%	25 24.8%	15 14.9%	43 42.6%	1 1.0%	14 13.9%
地域別	大字安真木	126 100.0%	15 11.9%	28 22.2%	32 25.4%	15 11.9%	19 15.1%	19 15.1%	51 40.5%	7 5.6%	5 4.0%
	大字川崎	112 100.0%	11 9.8%	27 24.1%	17 17.0%	7 6.3%	9 8.0%	15 13.4%	61 54.5%	1 0.9%	5 4.5%
	大字田原	98 100.0%	10 10.2%	16 16.3%	12 12.2%	6 6.1%	6 6.1%	5 5.1%	60 61.2%	3 3.1%	5 5.1%
	大字池尻	93 100.0%	11 11.8%	17 18.3%	19 20.4%	6 6.5%	4 4.3%	11 11.8%	46 49.5%	2 2.2%	8 8.6%



気になっていること、困っていること、不安に思うことについて

**あなたが生活するうえで、困っていること、不安に思っていることはなんですか。**

「健康」が26.9%で最も多い。次いで、「生活費や収入（23.4%）」となっている。

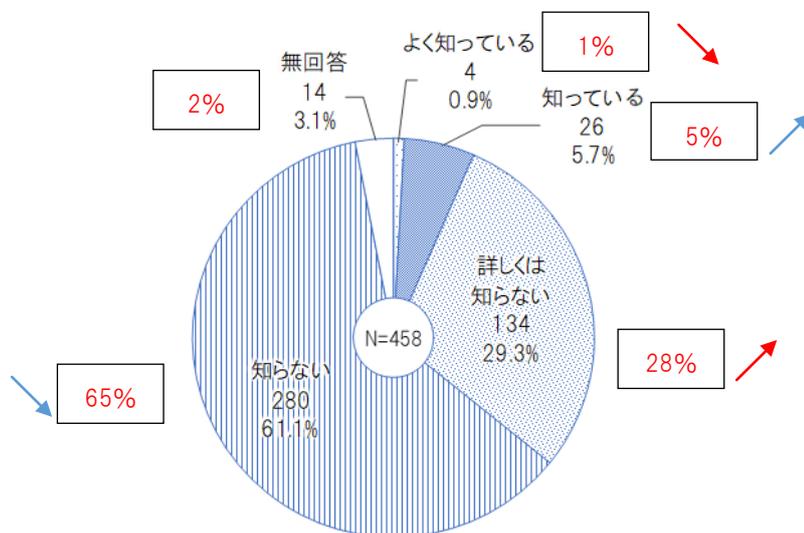


その他の意見	件数
免許返納後の交通手段がない	3
役場の職員の体制	1
農業開発のための事業資金	1
年を取り車を運転できなくなってからの自立した生活	1
田舎ゆえの後継不安	1
税金、保険料、病院治療代（薬代含む）の支払いが大変です。	1
子どもの結婚	1
公共交通	1
交通の不便	1
県営住宅に住んでいるが、家賃が異常に高い	1
近所の騒音（車やバイク含む）	1
人付き合い	1
過疎化	1
買い物、医療が町内には少ない	1

## 行政運営を対象とした総合計画について

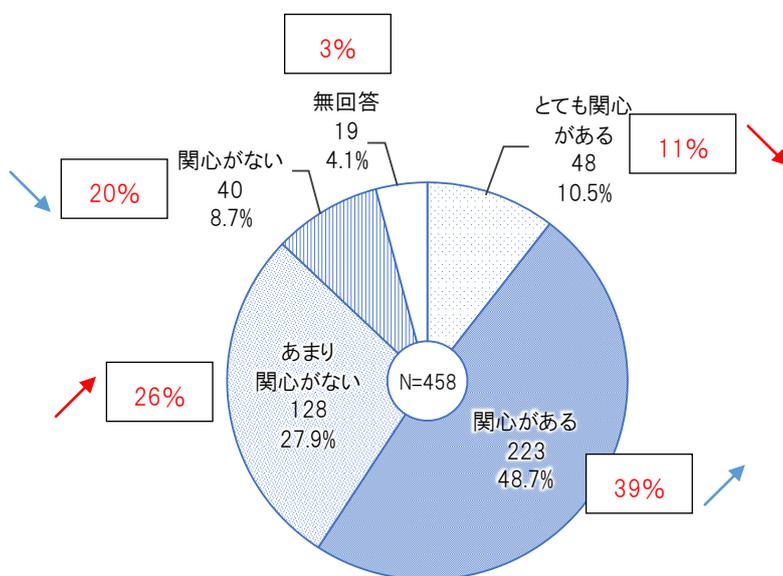
### あなたは、第5次川崎町総合計画をご存知ですか。

「知らない」が61.1%で最も多い。次いで、「詳しくは知らない(29.3%)」となっている。



### あなたは、これからのまちづくりの指針となる第6次川崎町総合計画への関心はありますか。

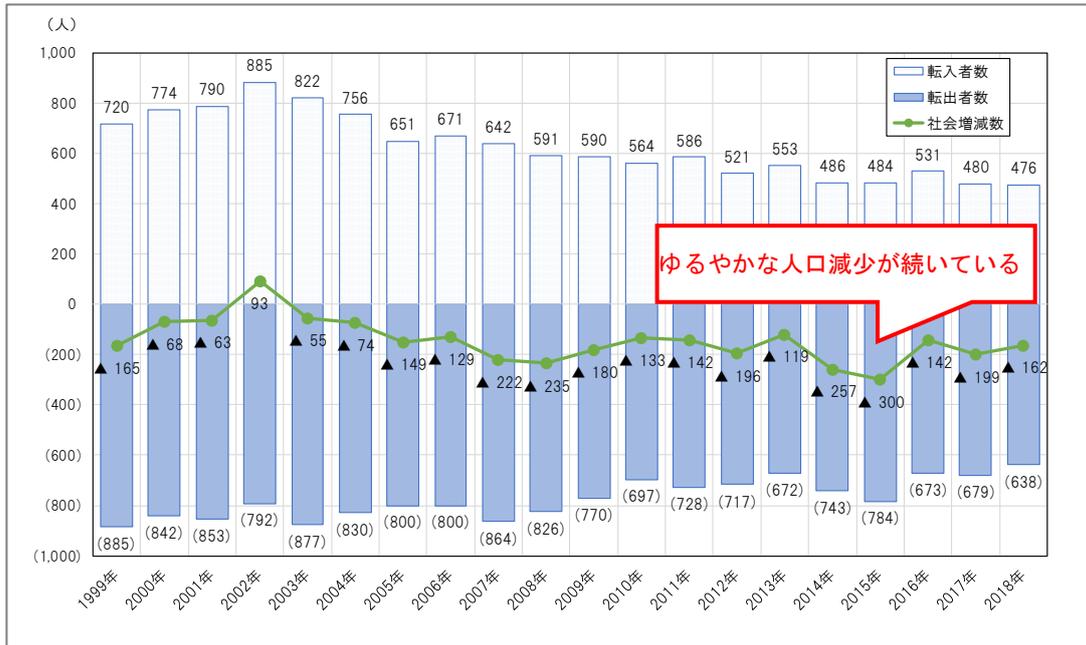
「関心がある」が48.7%で最も多い。次いで、「あまり関心がない(27.9%)」となっている。





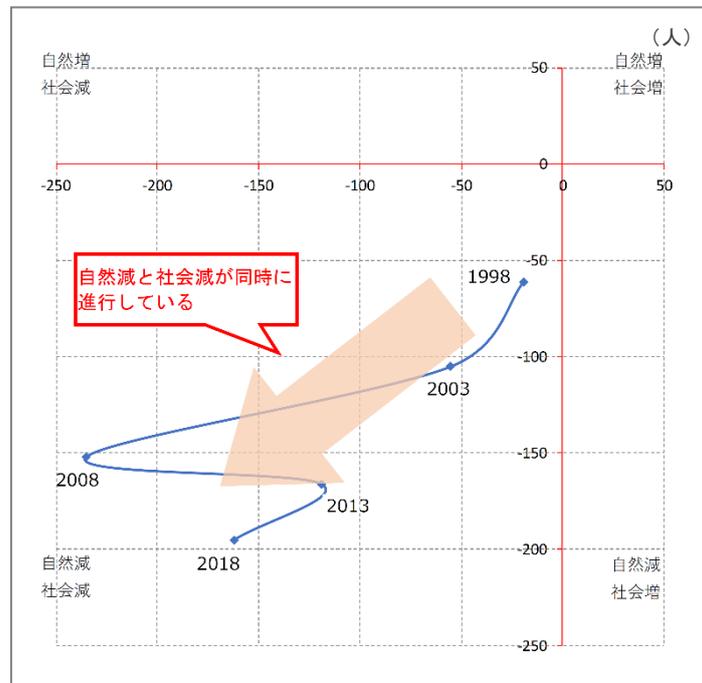
## 8. 現況データ

### ■本町の転入数と転出数からみた社会増減推移■



(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

### ■総人口の推移に与えてきた自然増減、社会増減の影響■



(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

## 9. 住民ワークショップ

### (目的)

10年間の総合計画を立案するにあたり、住民と職員が語り合い、地区の現状を確認し、町の将来像を共有することを目的に、住民ワークショップを実施しました。住民ワークショップの結果は第6次川崎町総合計画素案に反映しました。

### (プログラム)

前半は、安真木、田原、川崎、池尻の4つの大字単位の地区に分かれ、地区ごとに地域資源地図を作成しながら、まちの現況と課題についてまとめ、後半はグループ分けを再度行い、まちの未来について語りました。

### (実施日時)

令和元(2019)年 10月20日(日) 13:00~17:00

### (意見交換内容)

内容	ねらい
「自分の住んでいる地区について語ろう」	地域資源地図を作りながら話すことで、地区の現状を班のなかで共有する
「どんな町に住み続けたいか」 「将来像のイメージ」	参加者の意見を聞いて川崎町の未来をイメージする

## ワークショップの意見まとめ



参加者で協議した内容を次のとおりまとめました。

将来像のイメージ		こんな町なら住みたい・住み続けたい				
		教育	福祉	観光と農業	モラル・イメージ	その他
1班 安真木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育と福祉（現段階ではない）</li> <li>○観光と農業</li> <li>○モラル（治安）の高い町へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育が充実した町</li> <li>・学力の高い町</li> <li>・教育に力を入れる町（子どもが夢を追える）</li> <li>・教育の向上（現段階ではない）</li> <li>・教育（小中学校）を大切にする（学力をつけるために教員を増やすなどお金をつかう）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉が充実した町</li> <li>・福祉の向上（現段階ではない）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業が続けられる町</li> <li>・パン博、観光の一体化</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人がやさしい町（地域コミュニティ）</li> <li>・子ども（若い人）が誇れる町</li> <li>・町民のモラルの高い町</li> <li>・治安の良い町</li> <li>・ごみのない明るい町（花を美しく咲かせる）</li> <li>・ごみのないきれいな町（町民のモラル向上）</li> <li>・治安の良い町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便利な町（交通、買い物など）</li> </ul>
2班 池尻	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育を充実させるためのしくみづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力保障ができる、そして子ども達が安全に登下校できる町</li> <li>・教育水準を上げる</li> <li>・大人も子どもも教育の充実した町（教育費をおしまない）</li> <li>・教育の充実</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人が住みやすい、きれいな町</li> <li>・老人もともに協力できる町</li> <li>・生活保護率を下げる</li> <li>・生活保護者の減少、働く人を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品のある、農業が活発化した町</li> <li>・フードコートを作り、ブランド化してPRする。雇用も増えると思われる</li> <li>・町内外から人が集まり活気がある町</li> <li>・町民が（行政・町民など官民一体となって）暮らしやイベントを楽しむ町</li> <li>・特別なことより、信頼される物作りとブランド作り、維持可能な体制・予算作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治安の良い町</li> <li>・道徳心のある町</li> <li>・安心・安全を感じることで町づくり</li> <li>・環境を考慮した人と生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットがなければ人は集まらない</li> <li>・道路の整備</li> </ul>
3班 川崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後10年間子育てに特化する</li> <li>○学力アップ</li> <li>○生活環境の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力UP、教育に力を入れる</li> <li>・子ども達にスポーツができる所を</li> <li>・子育て、教育環境高齢者を学校へ</li> <li>・子どものことをもっと考えた町</li> <li>・子ども達にとってより良い教育ができる町</li> <li>・子ども達が充実したスポーツができる町</li> <li>・子どもの教育に真剣に取り組む町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負の連鎖を繰り返さない町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードコートを作り、町外の人を呼び込む</li> <li>・De・愛を中心に、魚楽園、雪舟ロードなどの施設やパン博などのイベントの充実</li> <li>・川崎町の特性を活かした農業が盛んな町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花を植えてきれいな町に、ごみのない町</li> <li>・安心・安全に暮らせる町</li> <li>・住民の交流が盛んな町</li> <li>・産業に活気がある町</li> </ul>	-
4班 川崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育</li> <li>○イベント・フードコート</li> <li>○優しさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力を上げるために、まずは町内をきれいにし、心を健全な状態に導く</li> <li>・教育レベル、学力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎町の印象が良くなるよう町の福祉の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光やイベント等を運動させて、人を呼び込んでいく</li> <li>・町外の人を呼びたい魅力・自慢のある町</li> <li>・パン博等行事の統一（計画的実施）</li> <li>・農業の活性化、農業人口を増やす、営農</li> <li>・川崎に来たくなるように、観光、イベント、フードコートなどを充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人も子どもも、人に優しくできる人が多い町</li> <li>・ここでずっと勉強したい、ここでずっと働きたいと思える町</li> </ul>	
5班 田原	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育・公共交通の充実</li> <li>○観光交流人口の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活環境を整える</li> <li>・昔からの伝統を守る町（教育もまじえて）</li> <li>・教育の充実</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くつろげる施設・場所があったらいい</li> <li>・他の町から来てくれる町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に優しい町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設でまちづくり</li> <li>・他の町に行かなくても、川崎町でいろいろなことが出来ると良い（遊ぶ、趣味など）</li> <li>・就労の場がある町</li> <li>・コミュニティバスなど公共交通が充実した町</li> </ul>

## 第 6 次川崎町総合計画

2020 年 3 月発行

発行 福岡県川崎町

福岡県田川郡川崎町大字田原 789 番地の 2

TEL : 0947-72-3000



 福岡県川崎町